

## 変圧器や各種電源装置を 手がける縁の下の力持ち

- 海外発注可
- 納期相談
- 企画力自信有
- オンライン技術
- メイドインジャパン
- 試作可小ロット



変圧器を製造する本社工場内

### 業務内容 変圧器専門メーカーからの 脱却で需要を開拓

「川原電機製作所」は変圧器をメインに製造するメーカーだ。創業は昭和48年。変圧器専門メーカーだった頃は顧客のさまざまな要望に苦心することもあったが、単なる変圧器メーカーからの脱却を目指し、付加価値商品やオーダーメイド製品を手がけるようになった。

平成28年9月から川原宏子社長が経営の舵取りを担う。変圧器以外に、各種電源装置やイカ釣り漁船に乗せる集魚灯用安定器など幅広い製品を手がけている。技術力と提案力を高めて「ビジネスでイニシアチブを取る」と川原社長は力を込める。現在、変圧器事業は売上高の約70%、残り30%を各種電源装置が占める。

### 強み 作業効率と品質の改善に向け 新技術やアイデアを採用

変圧器は海外メーカーとの価格競争にも陥りやすく、作業効率と品質の改善が課題だ。川原社長は「日本ではまだ取り扱っているメーカーは少ない」というオーストラリア発祥のユニコア鉄心を導入し、鉄心製造にかかる作業時間を約半分に低減した。従来の鉄心は短冊を一枚ずつ詰んで作るが、ユニコアは既に形が組み上がっているブロック型だ。

また、変圧器の巻き線には一般的に銅が使われるが、一時期銅が高騰した影響もあり安定供給されているアルミニウムに切り替えた。現在は製造する変圧器の80〜90%でアルミ線が用いられている。

### 材活用 若者や女性が集まる 職場環境作りに注力

社員教育と採用にも注力する。川原社長は「10代、20代がないので採用したい」と

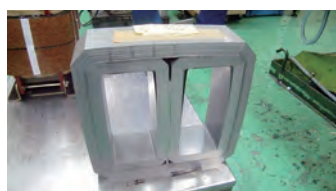
人材確保に意欲をみせる。教育には大阪府の職業能力開発機構「マイスター制度」を利用し、外部から技術者を招いた。社内教育だけでは甘えが出てしまうが「作業だけではなく仕事に対する心構えや取り組み方にも良い影響があった」と川原社長は成果を実感している。

また、女性が働きやすい環境作りにも前向きだ。実際、現在働いている技術者4名のうち1名は女性だ。「製造業は男性社会も」と女性が活躍できる会社になりたい」と川原社長は力を込める。

### 後の展望 主力製品を国内外に向けて 幅広くアピール

事業領域の拡大や人材育成など経営課題は多い。国内だけにとどまらず「海外で情報をつかんでくるのが自身の役目」と川原社長はいう。海外の展示会にもいずれは自社製品を出展し、直接やりとりできるようにしたいと構想する。

変圧器単体で勝負するのは厳しかったため、「当社でしか作れない特殊なトランスや大型の電源装置で打って出たい」と川原社長は意気込む。半導体メーカーや医療機器メーカーなど、多様な業界からの依頼に応える実績を重ねてきた。変わらぬ安全性を維持すると同時に、変化を恐れずに常に挑戦する姿勢も忘れない。



ユニコア鉄心



変圧器の形は仕様ごとにさまざま

## 当社の歴史



昭和48年に大阪府八尾市で変圧器メーカーとして創業しました。当初は変圧器のみの製造でしたが、巻き線技術と新冷却方式を採用したイカ釣り漁船用集魚灯の小型安定器「マーベルシリーズ」など独自製品を開発しています。電力調整電源ユニットや検査・医療用装置なども手がけ、国内外の幅広い需要に対応しています。

代表取締役社長 川原 宏子さん

大阪28 | ISO 9001

### 主な事業内容

変圧器、各種電源装置、集魚灯用安定器、省エネ関連機器の製造

### 主な取引先(納入先)

自動車部品、半導体、工作機械、医療機器メーカーなど

- 住所 〒582-0027 柏原市 円明町1000-86
- TEL 072-977-7090
- FAX 072-977-8012
- 創業 昭和48年1月
- 設立 昭和52年7月
- 資本金 1,080万円
- 従業員 22名

<http://www.kew-jp.com/>